

キラットさん

BE AMBITIOUS

大館商業高校 3年

澤田奈央さん



今回は、大館商業高校の文学少女で、また音楽をこよなく愛している澤田奈央さんをご紹介します。

澤田さんは、中学生のときから吹奏楽部で活躍。パートはクラリネットとのことで、中学二年及び高校一年のときに県大会出場。特に高校一年のときには、金賞に輝いたそうです。「吹奏楽をしていたつらいことはありませんでしたか」と、尋ねてみたところ「合宿のときなどは一日中練習なので、つらくてやめたいと考えたこともありました。最後は、みんなと一緒に音楽を作ることができると、思い一生懸命頑張りました」と、明るい笑顔を見せてくれました。

でも読むそうです。「中でも、推理小説が一番好き」と、話してくれました。

今年の夏休みの宿題で、読書感想文を書いたそうです。この感想文を先生が県の高校生を対象としたコンクールに応募したところ、なんと、みごとに最優秀賞と県知事賞をいただいたとのこと。後で知らせを聞いてビックリしたそうです。しかも、その賞にはおまけがありました。卒業式には、同窓会会長賞が贈られることが決定しているとのこと。ところでこのときの本のタイトルは「ザ・ギニー」を伝えるもの「だそうです。今までも、学校内の読書感想文のコンクールで数度入選をした実力者でもあります。

高校二年生のとき特別養護老人ホーム「水交苑」でボランティア活動を体験し、そこで働く人たちをみて今後の進路を決定しようです。「卒業後は、秋田桂城短期大学人間福祉学科に進学し、将来、地域の人たちのためになる仕事をしたい」とはつきり言ってくれました。

二年後には、市内の福祉施設で明るく、また、高齢者に頼られる職員として働いていることでしょう。



私の本棚

中央図書館新着図書



『孫二毛負ケズ』

北 杜 夫 著
新潮社

「ジイジ」この素敵な日本語に酔いしれるマンボウ氏。可愛らしくて、憎らしい、途方もなくて不可解な孫。その成長にジイジは体力、言語力ともに失墜。哀れに痛めつけられる日々、ジイジは、ついに「孫二毛負ケズ」と宣言する。でも、ちよつと芽生えた孫のやさしさに、また、めろめろになるマンボウ氏です……。

一般書

- ◆山砦(坂東眞佐子)◆海峡の光(辻仁成)◆家族シネマ(柳美里)◆日本一心のこもった恋文③(秋田県一ツ井町編)◆貧乏自慢(立松和平)◆親子三人(山口正介)◆白いカラス(西河克己)◆降魔の剣(北方謙三)◆ガラスの愛(稲葉真弓)◆神々の乱心上・下(松本清張)◆「赤毛のアン」の生活事典(テリー・神川)◆花とともに夢みてばかり(西村玲子)◆「H」学(藤本義一)◆ガンで死ぬのも悪くない(諏訪邦夫)◆上方落語十八噺(中島平八朗)◆ヘゲソの鼻(澤柳大五郎)◆星空フィールド日記(浅田英夫)◆海の道・海の民(大林太良)◆図説江戸時代食生活事典(日本風俗史学会編)◆寄り道して考える(森毅ほか)◆日本古代の祭祀と女性(義江明子)◆世界文化遺産法隆寺(高田良信)◆告白(井口俊英)◆異邦の韓国人・韓国の異邦人(仁科健一ほか編)◆古代日本のチーズ(廣野卓)◆性フェロモン(桑原保正)ほか
- ◆ゆうれいには足がある(小玉英津子)◆三つの時計の物語(森下真理)◆ハコちゃんの赤いくつ(森田文)◆天小森教授、初恋ひきうけます(野村一秋)◆へんだな?へんだな?(ひらのてつお)◆かぼちゃにしたら…(竹内通雅)◆こんやはすてきなゆきのよる(しばはら・ち)ほか

- ◆3月のテーマ関連図書コーナー……………『赤ちゃん』
- ◆親子読みかせ会……………3月7日 14時30分〜
- ◆中央図書館の休館日……………3月16日、20日、27日